

平成25年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
地域日本語教育実践プログラム (B)



可児市多文化人材育成推進事業
住みよい地域づくりと人づくり



【人材育成推進委員会】(取組1)

目
標

2ヶ月に一回、推進委員会を開催し、この地域において現状何が不足か、何が求められるのかなど、意見交換を行い、そこで出た意見を日本語教室にフィードバックし、課題をもとに改善へとつなげていく。推進委員会で得た人脈、パイプを活用し、職場体験先を確保する

ミニストップオーナー
土本 典子氏

- ・可児市の外国人を取り巻く現状
- ・お店の外国人の利用状況について

農業法人福地ハイツ
山田正隆氏

- ・高校生や大学生のアルバイトは社会体験としていいと思う
- ・社会と係わることで得られるものは、大きい
- ・職場体験実施の可能性について

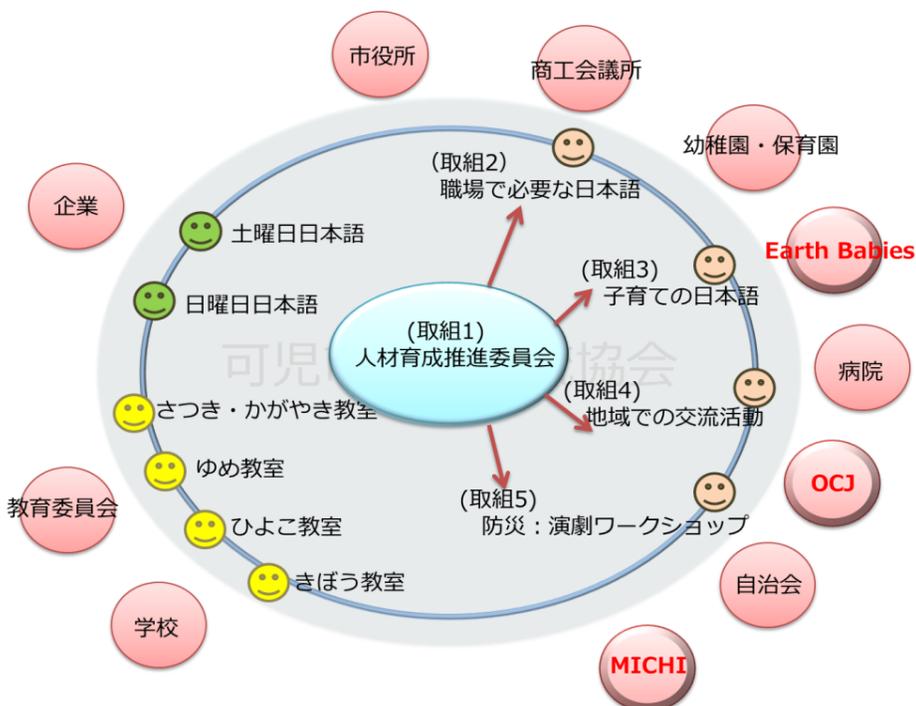
可児ライオンズクラブ

- ・可児ライオンズクラブ第1266回例会に出席させていただき、本事業の取組の説明と職場体験の受け入れについて呼びかけた



自扇酒造株式会社
加藤氏・山田氏・工場長

- ・Earth Babiesや本事業の取組を説明。外国人にみりんやお酒の良さを知ってもらい、今後の文化庁事業につなげられないか、また、人材育成の場として、職場体験できないか検討



職場体験の受け入れ先の協力



【職場で必要な日本語】(取組2)

目標

上級者向けのクラスで教えるためには、指導者のスキルも必要になってくる。
 毎月1回は、勉強会を開催し、指導者のスキルアップにつなげる。
 受講者の成果を取組1：人材育成推進委員会につなげ、地域における必要な
 人材確保につなげていく

中上級レベルの学習者アンケート調査

1位：新聞が読みたい

2位：敬語について学びたい

3位：文法を整理したい

申込み数 26人

初回人数 12人

最多人数 13人

最少人数 5人

講師検討会

全7回 14時間

日本語講師 6名

授業構成・内容について検討

成果

指導者のスキルアップ
オリジナル教材

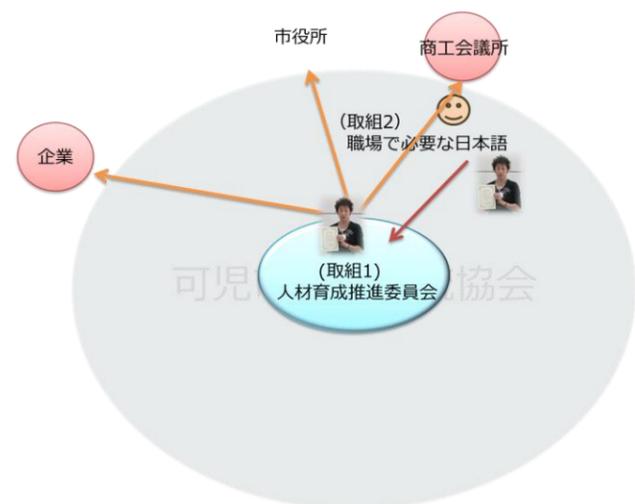
課題

推進委員会につなげる

回	開講日時	時間数	参加人数	国籍(人数)	取組のテーマ	内容	講師・補助者
1	平成25年7月7日 10:00~12:00	2時間	12人	ブラジル(8) フィリピン(3) ペルー(1)	話題づくり	【日本人特有の天気の話からスムーズに会話展開させる】 ・ラジオ天気予報リスニング ・日本地図で県名・地方名・気候 ・天気のオノマトペ ・テレビ画面の速報 ・防災について(警報) ・旅行チラシについて ・会話練習	講師1名 補助1名
2	平成25年7月14日 10:00~12:00	2時間	13人	ブラジル(6) フィリピン(5) ペルー(1) アメリカ(1)	敬語	・尊敬語 ・謙譲語 I・II ・丁寧語 ・美化語	講師1名
3	平成25年7月21日 10:00~12:00	2時間	12人	ブラジル(5) フィリピン(5) ペルー(1) アメリカ(1)	履歴書の書き方 面接の受け方	【適切な表現や言葉遣いで履歴書を書き、応募のための電話、面接で話す】 ・学習者の現在の就業までの経験をヒアリング ・チラシで応募する会社を選ぶ ・応募の電話をかける ・履歴書を書く ・面接を受ける	講師1名 補助1名
4	平成25年7月28日 10:00~12:00	2時間	6人	ブラジル(3) フィリピン(3)	職場のことば 職場のマナー	・あいさつをする ・頼む・断る ・許可をもらう ・ビジネスコラム	講師1名 補助1名
5	平成25年8月4日 10:00~12:00	2時間	8人	ブラジル(5) フィリピン(3)	職場の文書	・職場の文書とは ・報告書 ・伝言メモ ・通知文	講師1名 補助1名
6	平成25年8月11日 10:00~12:00	2時間	5人	ブラジル(2) フィリピン(3)	電話対応	・電話チャート ・会話例 ・メモの取り方 ・会話ロールプレイ	講師1名 補助1名
7	平成25年8月25日 10:00~12:00	2時間	6人	ブラジル(3) フィリピン(1) 中国(2)	文法の整理	・受身 ・使役 ・授受表現	講師1名
8	平成25年9月1日 11:00~12:00	1時間	13人	ブラジル(9) フィリピン(4)	情報を読む	・情報とは ・読む「節水」「断水」「消防設備点検」「停電工事」	講師1名 補助1名
9	平成25年9月8日 10:00~12:00	2時間	9人	ブラジル(6) フィリピン(3)	伝えること	・119・110でどう伝えるか ・電子メール ・電話での伝え方	講師1名 補助1名
10	平成25年9月15日 10:00~12:00	2時間	9人	ブラジル(8) フィリピン(1)	新聞を読む I	・中日新聞・自国の新聞との比較 ・1~32面 紹介 ・「ネット依存」について	講師1名
11	平成25年9月22日 10:00~12:00	2時間	6人	ブラジル(6)	新聞を読む II	・「ネット依存」に関する新聞記事 ・「ネット依存」に関するコラム ・コラムとは。報道、社説の違い ・分からない言葉、読めない漢字 ・事実と筆者意見 ・見出しをつけてみよう	講師1名 補助1名
12	平成25年9月29日 10:00~12:00	2時間	6人	ブラジル(5) フィリピン(1)	新聞を読む III	・「ネット依存」まとめ ・意見を言う時、使う言葉 ・意見を言う・賛成する・反対する ・記事の確認 ・内容確認・読後の意見・意見交換 ・作文 ・題・書き方・注意事項	講師1名 補助1名



〔皆勤者に修了証授与〕：修了証の価値・仕組み作り



【子育ての日本語】(取組3)

目標

同じ子育て中の日本人・地域の外国人の保護者同士が料理を通じて、交流し、日本語を学ぶ。さらに地産地消の大切さを啓蒙しながら、地元でこだわりを持って、農作物を栽培し生活されている農家の方々との交流をきっかけに地域の外国人の方々も地域参画しながら子育てをしていけるような取組体制を整備する

多文化共生育児サークル **Earth Babies**



活動理念

国籍を越え、一緒に育児を楽しもう！



子育ての悩みや喜びは万国共通！
子育て中の親が集まり、
国籍を問わず一緒に子育ての悩みや
喜びを分かち合おう！



- ・サークル交流会
- ・カンチーニョ ダ ママエ (Cantinho da Mamãe)
- ・ことばのひろば
- ・えいごであそぼ
- ・プレママ交流会



Earth Babies活動内容

本事業 昨年の課題

集客
国籍

本事業 今年目標

- ・参加しやすい身近なテーマ
- ・地域外国人と日本人と一緒に学びあえる活動



子育てを通じてみんな共通の悩み

お料理

給食にでてくる
「こんにゃく」
食べたいって
いわれても。。
どうやって料理
するの？

おいしくて、
オシャレな
スイーツ
つくりたい

運動会のお弁当って
どんなの？



子育ての日本語



2013年度 取組内容

- オレンジタルト作り
7月27日 10～14時 参加人数：18人
- キャラクター行楽弁当作り
8月24日 9時半～13時半 参加人数：12人
- 給食に出る和食を作ろう
11月16日 9時半～13時半 参加人数：18人





学習目標

「料理のことば」



和食の基本



地域の農産物



日本の食材



調味料



お料理を通して地域住民との交流



サポーター

Earth Babiesメンバー



木原美紀 講師

Earth Babiesメンバー



可児市給食センター栄養士さん



地域のNPO

工夫した点



手順書



レシピ



配席



FREVA Cooking Class info
 Date: 2019/11/16(Sat) Tomorrow!
 Time: 9:15 Reception Open
 9:30-12:30 Cooking Class
 Location: Fukushi Center 2F Cooking room
 Address: Inawatarai 692-1

Please bring your apron and handkerchief for you Hair cover.
 If you use babysitting service, please come Fukushi Center at 9:15.
 You may need to fill some application form for babysitting.

If you want to cancel, Please call FREVA(today) or 090-5295-1904(tomorrow).

We are looking forward to seeing you tomorrow!

Bye
 Earth Babies

Fukushi Center MAP
<https://maps.google.com/maps?hl=pt-br&ll=35.515555555555555,139.51555555555555&zoom=15>

前日の待ってるねメール

- ・当日、ドタキャン防止
- ・忘れ物防止
- ・スタート時間の厳守



原材料・材料・調味料クイズ



【オレンジタルト】



【キャラクター行楽弁当】



【給食の和食メニュー】



総参加者数 48名

ブラジル26名、フィリピン13名、日本2名、ペルー2名、ボリビア1名

スタッフ数 11名

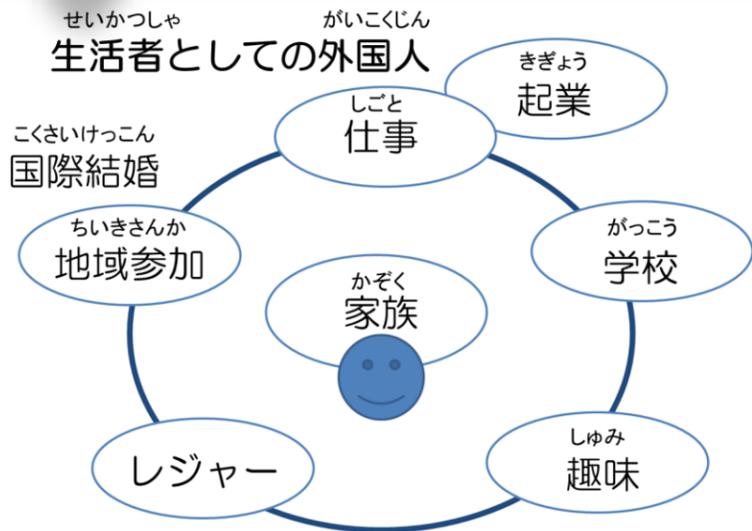
ブラジル4名、フィリピン2名、日本5名



【地域での交流活動】(取組4)

目標

地域交流として、2つの外国人家族が加入している『大森台自治会』での活動を通じて、交流を促進し、相互のコミュニケーション能力を高める



- 夏祭りで交流・・・3回の盆踊り練習
- 大森台自治会の夏祭り参加交流
- 野菜作り・・・そばの栽培
- 家庭料理講習
- ご近所付き合いのためのマナー講座

【地域の夏祭りで交流】



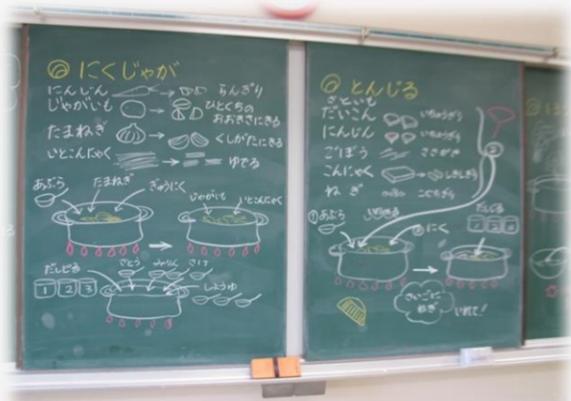
【野菜作り】



【そばの畑】



【家庭料理で交流日本語】



伝えよう・聞き取ろう



きんじょ ご近所づきあいマナーワークショップ

Let's learn Japanese culture through workshop!
Vamos aprender sobre a cultura japonesa através de workshop!



1. 自治会って何?
2. お宅訪問マナー
3. 結婚式・お引越し
4. お葬式
5. お祭り・お正月



【演劇ワークショップで伝える防災】(取組5)

災害時に災害弱者となりうる外国人居住者の防災意識の向上と災害時の情報伝達

目標

- 防災訓練や避難訓練は、毎年継続して実施
- 外国人支援の進まない地域での開催
- 保護者への啓発
- 指導者（ファシリテーター）の育成

多文化演劇ユニットMICHIIによる

演劇手法を用いたワークショップ



多文化演劇ユニットMICHIIとは

可児市文化創造センターalaでは、外国人と日本人との交流を演劇によって促進しようと「多文化共生プロジェクト」を実施しています。毎年たくさんの人々が参加し、言葉が通じなくても一緒に演劇を作って友だちになっています。そのメンバーから生まれたのがMICHIIです。多文化という「未知」のフィールドに「道」を作ろう、という思いが込められています。可児市国際交流協会にサポートしてもらいながら、MICHIIメンバーが難しい情報を分かりやすい演劇にし、体験しながら楽しく学べるワークショップを作っています。言葉はポルトガル語、英語、日本語など、いろいろ！！防災ワークショップなど災害の時に外国人が困らないように頑張っています。

【活動の様子】

イス取りゲームの要領で、会場中にバラバラに置いたイスを渡り歩きながら、ファシリテーターの『地震！』の合図でイスの下に頭を隠すなど、災害時にどう行動すればいいのかを学びます。

最初はぎこちない動きの参加者もくり返し行うことで、動きが素早くスムーズに行えるようになります。

避難所シミュレーションゲームでは、参加者一人一人が自分に必要なものを考えた後、参加者全員で避難所に持っていくとベストなアイテムは何だろうと考えました。歯ブラシを持っていくか、歯磨きガムを持っていくか、活発な議論が行われた回もありました。

第一回のワークショップでは避難訓練も実施しました。社会人の参加者からは『母国でもやったことがなく、初めての経験』という話がありました。



防災アイテムカードの選択



警報訓練



避難訓練



安全なところへ移動



屋外点呼



非常食体験



防災バンダナを作りました！

冊子にすると本棚にしまいがち。いざという時に活用できるバンダナにしました。防災アイテムカードから必要なアイテムを載せ、覚えてほしい日本語も載せました。



【シンポジウム】(取組6)

目標

本事業で取り組んだ内容を地域の企業や住民に周知させる
聴講者に住民を巻き込むことで、よりネットワークを広げる

《参加者》

57名

可児ケーブルテレビ取材
フラッシュニュースで放映



第一部:事例報告



第一部:会場の様子



玄関立て看板



第二部:参加型円卓会議



第二部:会場参加者からのご意見



登壇者

2013年度文化庁委託「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 地域日本語教育実践プログラム(B)

日本語教育シンポジウム

2013年度 可児市多文化人材育成推進事業
住みよい地域づくりと人づくり

2014年2月16日(日) 13:00~15:30

多文化共生センター フレビア (可児市下恵土1185-7:可児駅裏)

【プログラム】

12:30 受付開始

13:00 開会 総合司会:松井 かおり(朝日大学 講師)

◇第一部:取組事例報告

13:00~13:50

<1>人材育成推進委員会と上級者の日本語 近藤 利恵(NPO法人可児市国際交流協会 事務局次長)

<2>子育ての日本語 池辺 恭子(多文化共生育児サークルEarth Babies 代表)

<3>地域での交流活動 各務 眞弓(NPO法人可児市国際交流協会 事務局長)

<4>演劇ワークショップで伝える防災 山田 久子(多文化演劇ユニットMICHI 代表)

13:50~14:00 休憩

◇第二部:参加型円卓会議

14:00~15:30

発題者: 米勢 治子(東海日本語ネットワーク 副代表)

進行: 小島 祥美(愛知淑徳大学 准教授)

登壇者: 坪内 豊(可児市役所地域振興課 課長)

青山 勝治(大森台自治会 会長)

アビトン フェルナンド(フィリピンコミュニティOCJ代表)

田中 スザナ(多文化共生育児サークルEarth Babies)

大澤 まゆみ(可児市国際交流協会 土曜日日本語教室コーディネーター)

桑山 理子(可児市国際交流協会 日曜日日本語教室コーディネーター)

近藤 利恵(可児市国際交流協会 事務局次長)

15:30 閉会



可児市国際交流協会が主催する「養成講座」や「日本語教室」に絡めたため、多くの参加者が集まった。
事例報告では、関係団体のEarth BabiesやMICHIと、可児市国際交流協会の既存の教室、文化庁の取組との関連が、明確化された。
会場や登壇者に外国人の参加者がいた。
今回、本事業の取組に関わらなかった方々のご意見も積極的に聞けるような進行スタイルをとったことにより、従来のような日本人だけの偏った意見でまとまることはなかった。
外国人のニーズはどこにあるのか。教室運営の企画立案・チラシ作成から外国人に関わってもらい、外国人目線で、学習者を呼び込む。
日本人だけでは気が付かないことを知るチャンスになるということが分かった。

◀2014年度 告知▶

日本語見本市

2015年2月8日(日)

可児市多文化共生センター フレビア



